



【FOLFIRI+アバスチン療法について】 (5-FU+アイソボリン+カンプト+アバスチン)



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	目安の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ネオレスタール注	過敏症を抑えるお薬です	5分																												
デカドロン注 ナゼア注	吐き気止めです	15分																												
アバスチン注	抗がん剤です	30～90分																												
カンプト注	抗がん剤です	90分																												
アイソボリン注	5-FUの効果を強める薬です	2時間																												
5-FU注	抗がん剤です	約5分																												
5-FU注(持続)	抗がん剤です	46時間																												

2回目から点滴時間が短くなることがあります。



この週はお休みです。



この週はお休みです。



治療による副作用

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
自覚症状	食欲不振・吐き気																												
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																											
	口内炎																												
		口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																											
	下痢																												
検査値	色素沈着																												
		肌が黒ずむことがあります。長袖や帽子などを用いて、日光など紫外線には注意してください。																											
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																												
検査値	白血球減少																												
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																											
	赤血球減少(貧血)																												
検査値		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																											
	血小板減少																												
検査値		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																											

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ● 出血(鼻血など) ● タンパク尿 ● 胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ● 傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

古河赤十字病院薬剤部